



2023年9月29日発行

神戸大学 インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター ジェンダー平等推進部門 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 Tel: 078-803-5471 /5017



神戸大学 ICHC センタージェンダー平等推進部門 1年半の活動を振り返って

神戸大学ジェンダー平等推進部門長 野田 和恵

男女共同参画推進室がジェンダー平等推進部門となってから1年半が経ちました。変更は令和4年4月の大学組織改編によるもので、保健管理センター、キャンパスライフ支援センター、男女共同参画推進室の3つからインクルーシブキャンパスアンドヘルスケアセンター（以下 ICHC センター）が作られました。学長の強いリーダーシップのもと、インクルーシブキャンパスの取組みを大学の喫緊の課題の一つと位置づけて行われたと理解しています。

ジェンダー平等推進部門は、ICHC センターのひとつの部門となり、事務体制も変わり、少々混乱した中での出発となりました。男女共同参画推進室時代より合議体が増え、会議やその準備に今まで以上に時間や労力が必要になるなど、新体制を整えるのに時間がかかりましたが、従来からの事業（a. ジェンダー平等推進、ダイバーシティとインクルージョンの実現、b. ワークライフバランスの向上）は継承し、活動を続けています。

センターの一部門となることで次のような利点があったと考えています。

1. 保健管理部門、障害学生支援部門という、インクルーシブキャンパスを共に取り組む伴走・協力者を得たこと。
2. いろいろなことが ICHC センター仕様になり、大学の他部署から理解されやすく、意思疎通がさらにしやすくなったこと。
3. 事務体制が人事労務グループから学務課へ移行し、学生も視野に入れて活動しやすくなったこと。そしてなにより「インクルーシブキャンパス」という語がセンターの冠に入ったことは、大学の進む方向性を表しており、大きな進歩だと思っています。

新しい組織・体制になり、今まで取り組んできた業務に加えて「多様な性・ジェンダーの理解の促進と環境整備に関すること」にも取り組み始めました。令和4年度には、ICHC センター内に作業部会を発足させ、多様な性・ジェンダーに関する研修動画を製作し、現在公開しています。令和5年度は、文部科学省による科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の最終年にあたり、事業総括シンポジウムを年度末に開催するように準備を進めています。協力教員の規約を変更し、協力教員の役割を変え、新しい体制で協力いただくようにもしました。

これからもジェンダー平等推進部門は皆様と一緒にジェンダー平等、ダイバーシティを推進してまいります。

今まで同様ご意見やご提案をお待ちするとともに、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



神戸大学の女性教員在籍比率目標値が決定しました！

神戸大学は第四期中期目標期間終了時(2028年5月1日)に、**女性教員在籍比率 23%をめざす**ことが決定されました(2023年3月16日教育研究評議会)。

また、女性教員在籍比率 23%の達成にむけて、以下の制度が創設されました。

◆女性教員インスパイア制度

現行の若手教員雇用支援枠に加えて、学系(※)ごとに30ポイントを女性枠として割り当てます。

(※人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命・医学系、ただし全学基盤系を除く)。

◆女性教員増加人数に対するインセンティブ経費の配分

2022年5月1日を基準日として、第四期中期目標期間の各年5月1日付の女性教員数(主配置教員)を比較し、増加人数に応じて、部局にインセンティブ経費を配分します。

上記の取組に加え、**国際共同研究に取り組む女性教員への研究費支援**、女性研究者と若手研究者が交流する**ロールモデル交流会**を実施し、女性教員の採用・昇任を推進してまいります。

「2023 年度国際共同研究者養成プログラム」 採択結果のお知らせ

神戸大学では、科学技術人材育成補助事業「ダーバシティ研究環境イニシアティブ(先端型)」事業の一つとして、国際共同研究者養成プログラムを実施しています。昨年度までは、「国際共同研究PI養成プログラム」と「国際共同若手研究者育成プログラム」の2つで募集していましたが、プログラムの年齢制限について国際外部評価委員会から指摘があり、本年度は「国際共同研究者養成プログラム」として一本化し、助成額を昨年の倍にして募集を行いました。その結果、本年は7名の応募がありました。

応募書類を基にジェンダー平等推進部門で厳正に選考を行い、ジェンダー平等推進部門運営員会議での審議を経て、以下の3名が採択されました(採択結果は8/21に応募者に通知済み)。

農学研究科	松尾 栄子 助教
海事科学研究科	平田 燕奈 准教授
保健学研究科	胡 友恵 助教

また、採択された3名の先生方の国際共同研究の成果は、研究期間終了後に報告を部門のHPに掲載させていただくとともに、成果発表会を行うことを予定しております。

なお、このプログラムは「神戸大学ダイバーシティ基金」を用いて支援させていただいております。ご寄付頂いた皆様にこの場を借りまして御礼申し上げます。



2023 年度 神戸大学ユネスコチェア 教育プログラムを開催します

神戸大学ユネスコチェア事業は、4つの海外連携校と一緒に「災害」、「ジェンダー」、「脆弱性」、「ウェルビーイング」について教育や研究を行う事業です。目玉のひとつは、年に一度学部生や大学院生を対象に開催される「教育プログラム」です。当初（2018年、2019年）はインドネシアのガジャマダ大学で2週間の座学やフィールドワークを含む海外研修を実施していましたが、コロナ禍以後は、連携校のガジャマダ大学、高雄科技大学（台湾）、メーファールアン大学（タイ）、トゥンクアブドゥルラーマン大学（マレーシア）と神戸大学の5つの大学から約60名の学生が参加しオンラインプログラムを開催しています。プログラム内容は、各国の現状報告の後、5大学の学生から構成される小グループによる討議とグループ発表です。オンラインであっても、学生は主体的に参加できる国際的で学びの多い魅力的な研修プログラムです。

2023年度も連携大学と神戸大学でオンライン教育プログラムを開催します。留学生を含めて、学部生や大学院にぜひご案内ください。詳細は以下の通りです。

テーマ：「災害について話そう～みんなでつくる安全・安心」

使用言語：英語。日本人学生も留学生もぜひ！

日程：12月2日～3日、両日10:30～16:30（予定）。

募集期間：10月9日（月）～11月12日（日）。詳細については、GEMs 又は URL

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/project/unesco/news/2023/post-1.html>

多様な分野やバックグラウンドの学生が参加することを期待しています。



2022 年度教育プログラムの様子



理系志望の女子向けオープンキャンパス 2023 を 開催しました

理系志望の女子向けオープンキャンパスをオンラインで、8月10日に実施しました。

オープンキャンパス前半は、学部長による学部紹介、ジェンダー平等推進部門長からの挨拶に続き、女性教員による学科の紹介や研究紹介が行われました。後半はブレイクアウトルームを使って、学科毎に女性学生と女子高校生の交流会を実施しました。

高校生から将来就きたい職業にむけての学科選びに関することや、新設学部に関すること等、積極的に女性学生に質問している姿が印象的でした。また終了後、「参加してよかった！」「本当に行きたいか迷っていたが、確信にかわった」「モチベーションアップにつながった」といった声とともに、「大学生の先輩の方の説明や質問への回答がすばらしく、自分もあんなふうになりたいと思った」という、女性学生への感謝の言葉もたくさんいただきました。神戸大学及び理系の進路選択の魅力を伝える良い機会となりました。

当日オンライン交流会を進行いただいた、海洋政策科学部、理学部、工学部の女性学生の皆様にこの場を借りまして御礼申し上げます。

◆8月10日

10:00～11:30 海洋政策科学部（女子高校生参加者 39名）

13:00～14:30 理学部（女子高校生参加者 59名）

15:00～16:30 工学部（女子高校生参加者 82名）

2023・2024 年度 ジェンダー平等推進部門 協力教員が決まりました

神戸大学ジェンダー平等推進部門では、各部局から選出される協力教員と連携し、ジェンダー平等推進に関する取組を実施しています。

男女共同参画推進室における協力教員制度の下では、協力教員の方には3つの部会に所属し活動していただきましたが、ICHC センタージェンダー平等推進部門に移行したのに伴い、本年度からは部会に分かれての活動ではなく、部門の業務に係る特定の課題に対して助言及び必要な場合は支援を行っていただくこととなりました。

本年度から2年間、右記15名の先生方と有益な取組の実施や情報発信を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

氏名・職名	所属
佐々木 祐 准教授	人文学研究科
岡 本 佳 子 講 師	国際文化学研究科
平 芳 裕 子 准教授	人間発達環境学研究科
木 下 昌 彦 教 授	法学研究科
橋 野 知 子 教 授	経済学研究科
吉 田 満 梨 准教授	経営学研究科
保 井 みなみ 講 師	理学研究科
矢 野 育 子 教 授	医学研究科
林 敦 子 准教授	保健学研究科
鎌 田 泰 子 教授	工学研究科
堀 久美子 助 教	システム情報学研究科
福 田 伊津子 助 教	農学研究科
林 美 鶴 准教授	海事科学研究科
斉 藤 善 久 准教授	国際協力研究科
後 藤 将 史 准教授	経済経営研究所

お・知・ら・せ

多様な性・ジェンダーに関する相談窓口のご案内

ジェンダー平等推進部門では、神戸大学構成員の皆様の多様な性・ジェンダーに関する様々な相談に対応しています。この度、相談受付窓口を部門 HP トップにオープンいたしました。詳しくは、こちらの QR コードへ。



多様な性・ジェンダーに関する研修動画のご案内

神戸大学 ICHC センター 多様な性・ジェンダーに関する構成員向け研修作業部会が、多様な性・ジェンダーに関する研修知識と理解編～多様な構成員が活躍できる環境づくりをめざして～を制作いたしました。内容は「多様な性・ジェンダーとは」「多様な性・ジェンダーを受け入れるということ」「相談窓口の案内」の3つのテーマで構成されています。学内限定で公開しています。ぜひご活用ください。



ダイバーシティ教育プログラム動画のご案内

ジェンダー平等推進部門では、2020 年度に男女共同参画の推進に向けて教育プログラム（e ラーニング）を作成しました。内容は「日本における男女共同参画の推進状況」「女性活躍推進の目的」「だれもが働きやすい職場づくり」「求められるリーダー像」の4つのテーマで構成されています。学内限定で公開しています。ぜひご活用ください。



ジェンダー平等推進部門へのご意見・ご要望は、ホームページのお問い合わせからご意見箱を使ってお送りください。みなさまからのご意見・ご要望お待ちしております。

ジェンダー平等推進部門HP <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/>